



令和 6 年 9 月 2 日 発行

令和 6 年度 第 6 号 №197 常滑市立三和小学校

TEL 42-0749 FAX 43-7263 小学校 HP QR コード



安全・安心な環境と課題や災害等に強い学校を目指して

常滑市立三和小学校長 岩月 浩子

8月8日の夜、『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）』が発表された」というニュースを聞き、心臓がドキッとしました。真っ先に思い浮かんだのは「三和小学校は大丈夫か？ 三和っ子は安全か？ 職員は安全か？ どのような対応を取ることが必要か？」でした。

この発表は、日向灘の深さ 31 キロを震源とするマグニチュード 7.1 の地震が発生したことを受け、南海トラフ地震の想定震源域で大規模地震が発生する可能性がふだんと比べて高まっているとして、気象庁が発表したものです。『南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）』が発表されたのは初めてでした。発表後すぐに国が示した対応を確認すると、「揺れに備えて家具の固定する、避難場所や家族との安否確認の方法を確認しておくなど、日頃からの備えを改めて確認すること」、また「お年寄りや体の不自由な人、小さな子どもがいる家庭や施設では避難に時間がかかることも想定される」として、必要に応じて自主的な避難も検討すること」を呼び掛けるものでした。

そこで、学校の状況を振り返りました。三和小学校は耐震工事が完了しており、ほとんどのガラスは飛散防止フィルムが貼られています。大きな家具には転倒防止対策がされています。万一地震が起きた際の備えはできていることを確認し、一息つくことができました。今回は、夏休み中ということもあり、三和っ子は登校していません。登校していた場合を考えると、三和っ子と職員の安全を守るためにも再度マニュアルを確認しておく必要があると思いました。（我が家の飛散防止フィルムと家具の固定、防災グッズと非常食も慌てて確認しました）

4月の三和っ子でもお知らせしたように、三和小学校は「一人一人が輝く、安全・安心な学校」を目指し、「三和っ子みんなでわっしょい」を合言葉に、全職員の「愛情」「創意」「協働」で三和っ子を育成しています。重点努力目標の一つとして、個性や多様性を認め合う安全・安心な環境と課題や災害等に強い学校を掲げています。三和小学校が避難所になる可能性を踏まえて、今年度、4～6年生の希望者を対象に避難所宿泊体験（詳細は後日周知）を10月18日（金）、19日（土）に計画しています。三和小学校コミュニティスクールとして、実際に体育館に泊まって避難所体験をする予定です。地域や保護者の皆様と連携することで、災害等に強い学校に近づきたいと思います。

野外教育活動（5年生）

8月4日・5日に5年生は愛知県野外教育センターに野外教育活動に行ってきました。暑さが心配されましたが、熱中症予防をしながら、飯盒炊飯・キャンプファイヤー・川遊びなどすべての日程を予定通り行うことができました。



職員作業

夏季休業中に、駐車場ライン引きと飛散防止フィルム貼りを行いました。



